

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 高橋 晃

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 羽田野 彰士

TEL 03-3217-6550

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

配当支払開始予定日

平成20年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	157,011	—	31,457	—	32,837	—	22,991	—
20年3月期第2四半期	150,835	13.7	33,531	17.1	33,953	16.9	22,931	24.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	118.56	—
20年3月期第2四半期	115.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	384,704	—	303,933	—	79.0	—	1,566.77	
20年3月期	410,918	—	288,867	—	70.3	—	1,489.10	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 303,833百万円 20年3月期 288,780百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
21年3月期	—	16.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	1.2	62,000	△7.4	61,000	△5.0	40,000	△7.8	206.26

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

(下期想定為替レート: 1ドル=95円、1ユーロ=125円)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 210,876,260株 20年3月期 210,876,260株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 16,952,928株 20年3月期 16,946,729株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 193,926,631株 20年3月期第2四半期 197,952,330株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は2ページから4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【 定性的情報・財務諸表等 】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間では、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機が、実体経済にも波及し始めました。国内では、2008 年 4 月に行われた診療報酬改定に伴う薬価および特定保険医療材料の公定償還価格下落の影響を受けたのに加え、資源高と医療機器の安全規制強化に起因する原材料コスト、物流コストが想定以上に高騰しました。また、為替が急激に円高にシフトしたことで、海外の売上と利益が減少する影響を受けました。

このような状況のもと、2008 年 4 月からスタートさせました 3 ヶ年の中期経営計画「Phoenix 2010 ～非連続への挑戦～」は半年が経過しました。当第 2 四半期累計の業績は、為替や原材料価格の高騰などで営業減益となったものの、国内の売上高は薬価および公定償還価格の下落を高付加価値商品の売上増でカバーし増収を確保しました。また、海外の売上は現地通貨ベースで全地域にわたって 2 桁伸長を達成し、ほぼ想定通りの結果となりました。

中長期的な収益力強化と物量増への対応を目的として、国内外の工場への投資を行いました。加えて、大型新商品のグローバル展開に向けた研究開発も積極的に推進してまいりました。

今後も経営効率を徹底的に追求し、厳しい収益環境に適切に対処しながら、中期経営計画の戦略を推進してまいります。

<売上高>

国内では、薬価および公定償還価格引き下げの影響がありましたが、PTCAバルーンカテーテルをはじめとしたカテーテルシステムや輸液関連商品、血糖測定器、血液製剤システム商品、等が順調に売上を伸ばし、売上高は 813 億円、前年同期比で 2.3%の増加となりました。

海外では、為替の影響がありましたが、カテーテルシステム全般が好調に推移し、売上高は 757 億円、前年同期比 6.1%の増加となりました。

この結果、連結売上高は 1,570 億円、前年同期比 4.1%の増加となりました。

<営業利益>

物流増により利益が拡大しましたが、為替、診療報酬改定、会計制度・税制変更、及び想定以上の原材料価格の高騰等により営業利益は 315 億円と、前年同期比 6.2%の減少となりました。この結果、営業利益率は 20.0%となりました。

<経常利益>

営業外損益は 14 億円の利益を計上しました。主な項目は、受取利息 7 億円、為替差益 6 億円などです。その結果、経常利益は 328 億円となり、前年同期比 3.3%の減少となりました。

<四半期純利益>

特別損益には固定資産処分損 1 億円が含まれています。法人税は子会社からの配当に対する税額控除調整額の影響などがあり 98 億円となりました。以上の結果、当四半期累計純利益は 230 億円となり、前年同期比 0.3%の増加となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ 262 億円減少して 3,847 億円となりました。

流動資産は 325 億円減少して 1,856 億円となりました。借入金の返済をしたことにより現金及び預金が 383 億円減少したことが主な要因です。

固定資産は 62 億円増加して 1,991 億円となりました。無形固定資産はのれんが 12 億円減少しましたが、有形固定資産は 23 億円、投資その他の資産が 51 億円それぞれ増加しております。

負債の部は前連結会計年度末に比べ 413 億円減少し 808 億円となりました。

流動負債は 414 億円減少して 730 億円となりました。借入金を 350 億円返済したことが主な減少要因です。

固定負債は 2 億円増加して 77 億円となりました。

当第 2 四半期連結会計期間末の純資産の部は 151 億円増加して 3,039 億円となりました。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ 8.7 ポイント増加し、79.0%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後につきましては、金融市場の混乱とその影響による世界的な景気後退が懸念され、大変見通しのつきにくい状況ですが、今年度下期の想定為替レートを 1 ドル=95 円、1 ユーロ=125 円に変更し、その水準に沿って連結業績予想を見直すことといたしました。

当社グループは、さらなる円高の進行、安全規制の強化など、厳しい事業環境に対応するため、高付加価値品の導入、海外生産の拡大や徹底した販管費の見直しなどを行い、強固な経営基盤の構築に努めてまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号 平成 19 年 3 月 14 日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号 平成 19 年 3 月 14 日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用
通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。
- ③ 当第 1 四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の扱い」(実務対応報告第 18 号 平成 18 年 5 月 17 日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。
- ④ セグメントの区分について、従来はホスピタル商品群、心臓・血管領域商品群、生活医療商品群他の 3 つのカテゴリーとしておりましたが、当連結会計年度より、ホスピタル商品群、心臓・血管領域商品群、輸血関連商品群、ヘルスケア商品群の 4 つのカテゴリーへ変更いたしました。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区分	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
I 流動資産	185,620	48.3	218,072	53.1
現金及び預金	49,026		87,343	
受取手形及び売掛金	70,235		69,048	
商品及び製品	32,028		29,647	
仕掛品	6,417		5,735	
原材料及び貯蔵品	15,303		13,356	
繰延税金資産	7,531		8,998	
その他	5,863		4,744	
貸倒引当金	△785		△801	
II 固定資産	199,083	51.7	192,846	46.9
1. 有形固定資産	115,022	29.9	112,744	27.4
建物及び構築物（純額）	43,562		44,121	
機械装置及び運搬具（純額）	34,322		35,602	
土地	20,374		20,404	
建設仮勘定	9,909		6,412	
その他（純額）	6,854		6,202	
2. 無形固定資産	33,967	8.8	35,125	8.6
のれん	29,015		30,202	
その他	4,951		4,922	
3. 投資その他の資産	50,093	13.0	44,976	10.9
投資有価証券	36,167		40,527	
繰延税金資産	6,809		1,878	
その他	7,115		2,570	
資産合計	384,704	100.0	410,918	100.0

(単位：百万円)

区分	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%
I 流動負債	73,026	19.0	114,457	27.9
支払手形及び買掛金	27,873		27,245	
短期借入金	240		35,000	
未払法人税等	10,330		17,802	
賞与引当金	4,619		4,782	
役員賞与引当金	94		189	
繰延税金負債	197		197	
設備関係支払手形及び未払金	6,865		5,646	
その他	22,805		23,593	
II 固定負債	7,744	2.0	7,593	1.8
繰延税金負債	10		36	
退職給付引当金	4,177		4,263	
役員退職慰労引当金	659		728	
その他	2,895		2,565	
負債合計	80,770	21.0	122,051	29.7
(純資産の部)				
I 株主資本	310,457	80.7	291,624	71.0
資本金	38,716		38,716	
資本剰余金	59,030		59,030	
利益剰余金	271,536		252,667	
自己株式	△58,826		△58,790	
II 評価・換算差額等	△6,623	△1.7	△2,843	△0.7
その他有価証券評価差額金	2,786		5,026	
為替換算調整勘定	△9,410		△7,869	
III 少数株主持分	99	0.0	87	0.0
純資産合計	303,933	79.0	288,867	70.3
負債純資産合計	384,704	100.0	410,918	100.0

(2) 四半期連結損益計算書
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

区分	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	
	金額	百分比
		%
I 売上高	157,011	100.0
II 売上原価	72,729	46.3
売上総利益	84,282	53.7
III 販売費及び一般管理費	52,824	33.7
営業利益	31,457	20.0
IV 営業外収益		
受取利息	689	
受取配当金	251	
受取ロイヤリティー	62	
為替差益	615	
持分法による投資利益	29	
その他	617	2,265
V 営業外費用		
支払利息	125	
売上割引	271	
たな卸資産処分損	151	
その他	336	885
経常利益	32,837	20.9
VI 特別利益		
固定資産売却益	3	
投資有価証券売却益	80	83
VII 特別損失		
固定資産処分損	134	134
税金等調整前四半期純利益	32,787	20.9
法人税、住民税及び事業税	10,202	
法人税等調整額	△424	9,777
少数株主利益		18
四半期純利益	22,991	14.6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	32,787
減価償却費	8,534
のれん償却額	980
持分法による投資損益(△は益)	△29
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△114
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△68
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△94
受取利息及び受取配当金	△941
支払利息	125
為替差損益(△は益)	△83
固定資産処分損益(△は益)	134
有形固定資産売却損益(△は益)	△3
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△80
売上債権の増減額(△は増加)	△1,234
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,005
仕入債務の増減額(△は減少)	1,329
その他	△6,555
小計	29,696
利息及び配当金の受取額	1,092
利息の支払額	△200
法人税等の支払額	△17,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,165
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△1,973
定期預金の払戻による収入	1,831
有形固定資産の取得による支出	△8,548
有形固定資産の売却による収入	3
無形固定資産の取得による支出	△463
投資有価証券の取得による支出	△1
投資有価証券の売却による収入	580
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,857
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△35,040
自己株式の取得による支出	△35
配当金の支払額	△3,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,566
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,117
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△38,375
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	85,377
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	47,001

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号 平成 19 年 3 月 14 日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号 平成 19 年 3 月 14 日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	ホスピタル 商品群	心臓・血管 領域商品群	輸血関連 商品群	ヘルスケア 商品群	計	消 去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	75,219	66,611	12,586	2,593	157,011	—	157,011
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	75,219	66,611	12,586	2,593	157,011	—	157,011
営業利益	16,115	19,157	2,125	143	37,542	(6,085)	31,457

(注) 1. 事業区分は、事業経営を軸とした戦略立案とマネジメントによるカンパニー制に沿い、「ホスピタル商品群」「心臓・血管領域商品群」「輸血関連商品群」及び「ヘルスケア商品群」の 4 事業に区分しております。

(注) 2. 各事業区分の主な製品

事業区分	売上区分	主要製品
ホスピタル 商品群	ホスピタル医療器	シリンジ(注射筒)、注射針、輸液セット、静脈留置針、 真空採血管、輸液ポンプ、シリンジポンプ 他
	医薬品類	輸液剤、高カロリー輸液剤、プレフィルドシリンジ、栄養食品 他
	腹膜透析関連	腹膜透析システム
	糖尿病関連	血糖測定システム(病院市場)
	在宅医療関連	在宅輸液システム、酸素濃縮器 他
心臓・血管 領域商品群	カテーテル システム	血管造影用カテーテル、PTCAバルーンカテーテル、 コロナリーステンント、 脳動脈瘤治療用コイル 他
	人工心肺システム	人工肺、体外循環システム 他
	人工血管	人工血管
輸血関連商品群	輸血関連	血液バッグ、血液製剤システム 他
ヘルスケア商品群	ヘルスケア商品	家庭用電子体温計、家庭用電子血圧計、 血糖測定システム(OTC市場) 他

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	81,355	30,736	28,941	15,977	157,011	—	157,011
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	24,643	1,814	3,394	7,237	37,090	(37,090)	—
計	105,998	32,550	32,336	23,215	194,101	(37,090)	157,011
営業利益	28,225	4,271	1,521	4,102	38,121	(6,663)	31,457

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧州：ベルギー、イギリス、ドイツ等
米州：アメリカ、カナダ、メキシコ等
アジア他：UAE、オーストラリア、タイ等

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	欧州	米州	アジア他	計
I. 海外売上高	30,736	28,941	16,002	75,681
II. 連結売上高				157,011
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	19.6%	18.4%	10.2%	48.2%

(注) 1. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域・・・欧州：ドイツ、フランス、イタリア等
米州：アメリカ、カナダ、メキシコ等
アジア他：オーストラリア、タイ、台湾等

(注) 2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表等

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)		
	金額		百分比
			%
I 売上高		150,835	100.0
II 売上原価		67,981	45.1
売上総利益		82,854	54.9
III 販売費及び一般管理費		49,322	32.7
営業利益		33,531	22.2
IV 営業外収益			
受取利息	572		
受取配当金	238		
受取ロイヤルティー	46		
持分法による投資利益	20		
その他	370	1,247	0.8
V 営業外費用			
支払利息	111		
売上割引	249		
為替差損	137		
たな卸資産処分損	108		
その他	218	826	0.5
経常利益		33,953	22.5
VI 特別利益			
固定資産売却益	1		
貸倒引当金戻入益	11		
持分変動差額	1,059	1,073	0.7
VII 特別損失			
固定資産処分損	131	131	0.1
税金等調整前中間純利益		34,895	23.1
法人税、住民税及び事業税	11,156		
法人税等調整額(△:減算)	788	11,945	7.9
少数株主利益(△:損失)		18	0.0
中間純利益		22,931	15.2

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
	金額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	34,895
減価償却費	8,100
のれん償却額	591
持分法による投資利益	△20
退職給付引当金の増減額 (減少: △)	△718
貸倒引当金の増減額 (減少: △)	15
役員賞与引当金の増減額 (減少: △)	△86
受取利息及び受取配当金	△810
支払利息	111
為替差損益 (差益: △)	220
有形固定資産処分損	131
有形固定資産売却益	△1
持分変動差額	△1,059
売上債権の増減額 (増加: △)	△259
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△2,277
仕入債務の増減額 (減少: △)	△962
その他	40
小計	37,909
利息及び配当金の受取額	889
利息の支払額	△41
法人税等の支払額	△5,303
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,454
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,777
定期預金の払戻による収入	1,364
有形固定資産の取得による支出	△8,958
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△238
投資有価証券の取得による支出	△4,259
投資有価証券の償還による収入	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,867
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額 (減少: △)	35,000
自己株式の取得による支出	△12,627
配当金の支払額	△3,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,191
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	409
V. 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	39,187
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	43,049
VII. 現金及び現金同等物の中間期末残高	82,236

(3) セグメント情報

[1] 事業の種類別セグメント情報

前中間連結会計期間（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

	ホスピタル 商品群	心臓・血管 領域商品群	生活医療 商品群他	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	74,050	61,595	15,189	150,835	—	150,835
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	74,050	61,595	15,189	150,835	—	150,835
営 業 費 用	58,787	42,170	10,578	111,537	5,766	117,303
営 業 利 益	15,262	19,424	4,610	39,298	(5,766)	33,531

注1) 各事業の主な製品

事 業 区 分	売 上 区 分	主 要 製 品
ホスピタル商品群	ホスピタル医療器	シリンジ(注射筒)、注射針、輸液セット、翼状針、留置針、 真空採血管、輸液ポンプ、シリンジポンプ 他
	医 薬 品 類	輸液剤、高カロリー輸液剤、プレフィルドシリンジ 他
	輸 血 関 連	血液バッグ、成分採血装置、無菌接合装置 他
心臓・血管領域 商 品 群	カ テ ー テ ル シ ス テ ム	P T C Aカテーテル、コロナリースtent、 ガイドワイヤー、血管造影カテーテル、脳動脈瘤治療用コイル 他
	人 工 心 肺 シ ス テ ム	人工肺、体外循環システム 他
	人 工 血 管	人工血管
生活医療商品群他	腹 膜 透 析 関 連	腹膜透析液 他
	糖 尿 病 関 連	血糖測定システム 他
	そ の 他	在宅輸液システム、酸素濃縮器、家庭用電子体温計、家庭用電子血圧計 他

[2] 所在地別セグメント情報

前中間連結会計期間（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

	日本	欧州	米州	アジア他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	79,566	27,310	28,859	15,098	150,835	—	150,835
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	22,685	1,685	3,381	7,057	34,810	(34,810)	—
計	102,252	28,996	32,240	22,156	185,646	(34,810)	150,835
営 業 費 用	71,959	24,942	29,743	18,466	145,111	(27,808)	117,303
営 業 利 益	30,293	4,053	2,497	3,690	40,534	(7,002)	33,531

[3] 海外売上高

前中間連結会計期間（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：百万円）

	欧 州	米 州	アジア他	計
I. 海 外 売 上 高	27,310	28,859	15,148	71,317
II. 連 結 売 上 高				150,835
III. 連結売上高に占める 海外売上高の割合	18.1%	19.1%	10.1%	47.3%

 **TERUMO[®]**

人にやさしい医療へ